

自給飼料生産によるコスト低減と高品質な生乳生産

(群馬県：横沢牧場)

取組項目

飼養管理	良質堆肥の生産	堆肥の広域流通	国産飼料生産・利用	有機畜産	その他(※)
			○		

(※) 畜産GAP、農場HACCP、労働環境の改善、消費者理解の醸成 等該当するものを記入

<取組主体について>

- ・所在地：群馬県吾妻郡嬭恋村
- ・代表者：横沢 宏一
- ・飼養頭数：搾乳牛35頭（育成牛26頭）
- ・飼料作物作付面積：18ha
（永年性牧草（チモシー、リードカナリーグラス））
- ・労働力：3名（R4.2時点）



永年草地の様子

<取組について>

○ 概要

- ・自作地及び近隣の廃業した酪農家所有の永年草地を合わせた18haを管理。
- ・草種はチモシー10haとリードカナリーグラス8haで、約600個のロールベールを生産して通年給与とし、特にリードカナリーグラスは出穂前の刈取りの徹底で、粗タンパク質が高く嗜好性の良い粗飼料を生産。
- ・生産する堆肥の8割を地域のキャベツ農家が利用し、残りの2割を完熟堆肥にして自家の草地を完全更新する際に還元。

○ 成果

- ・輸入飼料に頼らず、粗飼料は全て自給飼料で賄うことで、飼料費にかかるコスト低減を図り、安全で良質な粗飼料生産に取り組んでいる。
- ・全て自家育成で後継牛を確保しており、自分の農場にあった健康で病気の少ない牛群づくりを果たしている。
- ・群馬県原乳品質改善共励会では、長年にわたって上位入賞を果たすなど、年間を通じて高品質な生乳生産に取り組んでいる。



育成牛の様子